



南国の道

2004/2005 達成度報告書／業績計画書



2005年 10月

内閣府 沖縄総合事務局

南部国道事務所

1. 事務所の基本方針



南部国道事務所では、“中南部地域の特色”や“県民からの要望”等を踏まえて、以下に示す6つの基本方針の実現に向けた道路行政を推進していきます。

方針1：交通渋滞の緩和に向けた道づくり

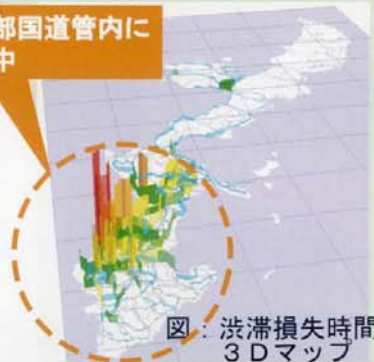
沖縄県の渋滞は、3大都市圏以外でもっとも多い状況にあり、その中でも南部国道事務所管内に**県内の約85%以上の渋滞が集中**しています。

南部国道事務所では、“交通渋滞の緩和に向けた道づくり”を推進していきます。

表 都道府県別渋滞状況

都道府県	1km当たり 渋滞損失時間 (千人時間/年・km)
1 東京都	136.7
2 大阪府	107.7
3 神奈川県	76.0
4 埼玉県	53.5
5 愛知県	49.2
6 沖縄県	41.2
7 千葉県	40.5
全国平均	20.3

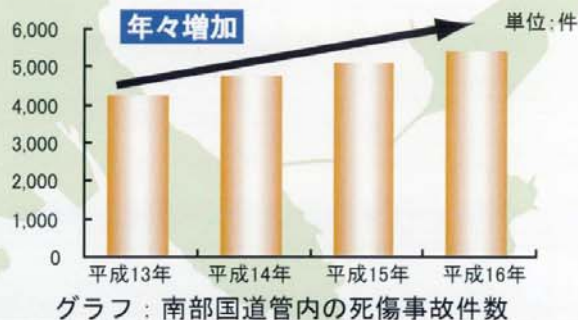
南部国道管内に
集中



方針2：全ての人に安全で安心な道づくり

南部国道管内における死傷事故件数は年々増加傾向を示しており、道路交通の安全が求められる状況となっています。

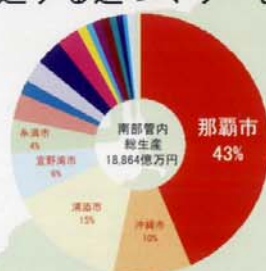
南部国道事務所では、“すべての人に安全で安心な道づくり”を推進していきます。



方針3：地域間の連携や交流を支援する道づくり

南部国道管内には、都市機能が集中している県都那覇市が立地しており、各地域から那覇市への連携向上は、沖縄県発展に向け必要不可欠です。

南部国道事務所では、“地域間の連携や交流を促進する道づくり”を推進していきます。



グラフ：南部国道管内の純生産額構成

方針4：沖縄らしい個性や観光的魅力を創造する道づくり

沖縄県への観光客数は年々増加、昨今では年間500万人以上が訪れる観光立県であり、南部国道管内においても、多くの観光資源を有しています。

南部国道事務所では、これら観光を支援し沖縄らしい個性を創造する“沖縄らしい個性や観光的魅力を想像する道づくり”を推進していきます。



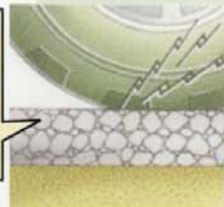
方針5：環境に配慮した道づくり

沖縄県には固有の自然が生息しており、これら豊かな自然との共存が必要となっています。

また、道路沿道の居住環境の確保・向上も求められています。

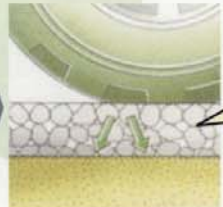
南部国道事務所では、自然環境や居住環境といった、“環境に配慮した道づくり”を推進していきます。

タイヤ溝と
舗装面の間に
空気の逃げ道が
なく騒音が発生



図：通常舗装

舗装の空隙に
空気が逃げ、
騒音が低減される



図：低騒音舗装

方針6：開かれた道路行政の運営に基づいた道づくり

近年「行政の透明性」や「開かれた行政」への関心が高まっている状況です。

南部国道事務所では「県民や道路ユーザーのニーズの反映」や「積極的な情報発信」など“開かれた道路行政の運営に基づいた道づくり”の構築に向け取り組んでいきます。



写真：グループインタビュー実施風景

2. 県民からの意見・要望（ニーズ）



各種調査などを通じ、道路に対する様々な意見や要望(ニーズ)が寄せられています。これらの意見を反映した取組を進めていきます。

グループインタビュー調査

職業ドライバーや一般ドライバー、一般歩行者および身体障害者などの道路利用者を対象に、日頃から道路に対してどのような要望があるかをグループインタビュー形式で調査しました。



表 平成16年度実施実績

	団体	属性
1	路線バス運転手	職業ドライバー
2	沖縄県交通安全母の会連絡協議会	一般ドライバー
3	郵便集配車運転手	二輪ドライバー
4	ウォーキング協会	歩行者
5	介護者、社会福祉協議会	障害者
6	介護者	障害者
7	介護者	障害者
8	タクシー運転手及びトラック運転手	職業ドライバー

寄せられた意見や指摘については、右図の流れで対策を実施していきます。

グループインタビューにて寄せられた意見

指摘内容を「計画的に対策」、「緊急に対策」、「通常業務内に対策」に区分

対策区分毎に実施

ホームページ等を通じて対策内容を公表

～指摘への対応事例～

国道329号(那覇市国場)

<指摘内容>

点字ブロックがない



<対策内容>

点字ブロック整備



国道330号(沖縄市安慶田)

<指摘内容>

植栽が視覚障害者の歩行を阻害



<対策内容>

植栽の剪定



※グループインタビュー調査の詳細内容は南部国道ホームページ(<http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/>)にてご覧になれます

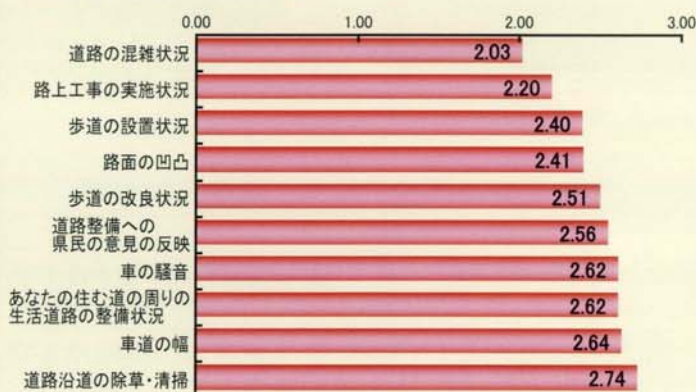
アンケート調査

新聞への折り込み配布により、道路に関する“道路利用満足度”や“優先して実施すべき対策”について、県民の意見を把握、道路行政へ反映していきます。

県民が評価する“道路に対する満足度” 最も評価が低いのは『道路の混雑状況』

南部国道管内の道路に対する満足度を見ると、『道路の混雑状況』が、最も低い状況です。

また、「路上工事の実施状況」や「道路整備への県民の意見の反映」といった行政運営に関する満足度も低い状況です。



グラフ：道路の項目別満足度（全22項目中ワースト10）

※道路利用満足度

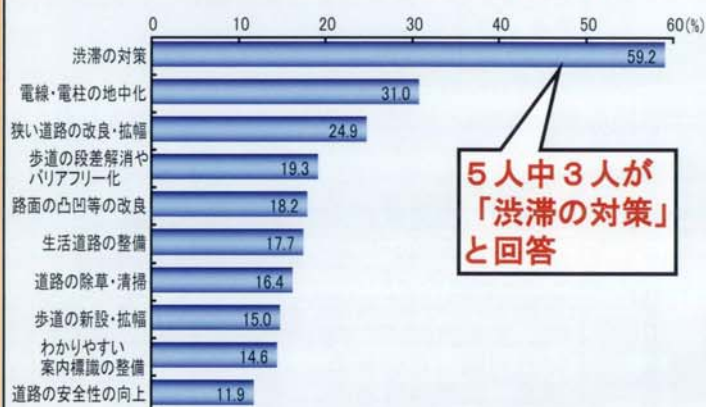
道路に関する各項目について、“満足”～“不満”まで5段階で評価をしてもらっています。

5点満点で、数字が大きいほど「満足度が高い」事を示しています。

県民が考える“優先的に対策すべき事” 最も望まれているのは『渋滞の解消』

南部国道管内の道路に対し、優先的に取り組むべき対策としては、『渋滞の対策』が最も多く指摘され、満足度の低さを反映しています。

また、次いで指摘が多い項目としては「電線・電柱の地中化」が挙げられています。



5人中3人が「渋滞の対策」と回答

グラフ：優先して実施すべき対策（全22項目中ベスト10）

3. 平成16年度の取組の成果～施策実施による達成度～



平成16年度に実施した主な取り組みやその効果を紹介します。

鏡水交差点改良により事故が大幅に減少

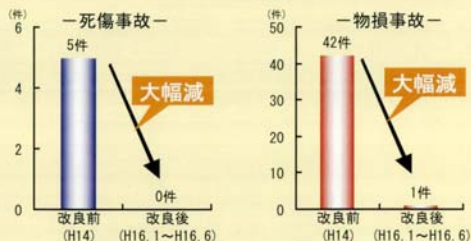
- 鏡水交差点では、右折車両に対し「逆バンク」となる為右折時の逸脱事故等が多発していました。
- 事故の発生状況から要因を分析し、交差点改良を実施、その結果、死傷・物損事故とも大幅に減少しました。



写真：鏡水交差点（整備前）



写真：鏡水交差点（整備後）



グラフ：鏡水交差点における事故発生状況



排水性舗装実施で沿道環境が向上

- 国道329号沖縄市宮里地区では、沿線の騒音値が、昼夜ともに環境基準を超過している状況でした。
- “走行上の安全性向上”や“沿道環境の改善”を目的に排水性舗装を整備、その結果、騒音環境基準をクリアするなど、沿道環境の改善が図られました。



グラフ：排水性舗装整備前後の騒音状況

環境基準：環境基本法で規定された「人の健康を保護、および生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準」

石平・普天間交差点改良により渋滞が緩和

- 国道330号石平交差点、普天間交差点では朝夕のピーク時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生していました。
- 両交差点で交差点改良を実施したことにより、交差点の渋滞長が大幅に削減しました。

石平交差点



普天間交差点



渋滞長削減によりこんな効果も！

自動車からの二酸化炭素の排出量が削減

交差点における渋滞長の削減により、前後区間の走行速度が最大で18km/hから40km/hに向上しました。
また、走行速度の向上は、地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素排出量の削減につながります。（走行速度が遅いと、自動車から排出される二酸化炭素の量が多くなります）
交差点改良により、年間約660tの二酸化炭素の削減（現状の約3割削減）が図られると試算されます。



4. 平成17年度の取組～業績計画～



南部国道にて掲げている6つの基本方針の達成に向けて、平成17年度に以下に示す事業や取り組みを実施していきます。

基本方針の実現に向けた主な取組

“渋滞緩和に向けた道づくり”に向けた取組

～重点対策区間の選定～

全国的なアウトカム指標『1km当たり渋滞損失時間（渋滞によって失われる時間の1km当たりの換算値）』を用いて、渋滞の大きい区間を把握（右図に示す区間）、優先的に対策を実施していきます。

また、上記以外に『観光利用（レンタカー）の多い区間』や『大型プロジェクト周辺区間』においても、観光支援や地域振興の視点から対策を実施していきます。

図 重点対策区間



～取組方法～

短期・長期・ソフト施策の3つの柱で対策を実施していきます。

長期対策

バイパス整備など路線整備

短期対策

交差点改良などによる短期対策の推進

ソフト対策

バス位置情報の提供などTDM施策の推進

“すべての人に安全で安心な道づくり”に向けた取組

●交通事故の削減に向けた取り組み

～重点対策区間の選定～

道路を約1km毎に分割し事故発生要因や道路の構造など交通事故に関連する基礎データを詳細に把握した上で、事故発生危険性が高い区間や交差点について優先的な対策検討・実施を推進します。

～取組方法～

短・中・長期別に対策を実施。

長期対策

バイパス整備など路線整備

短期対策

小規模な交差点改良や、標識や信号現示の改良など

中期対策

大規模な交差点改良や、道路構造の改良など

●防災対策

路面舗装の維持や、構造物の防災対策といった道路に求められている基本的な安全性を確保する維持・管理（点検・調査やその結果に基づく適切な対策）を実施していきます。

“開かれた道路行政の運営に基づいた道づくり”に向けた取組

●効率的な日常管理に向けた取り組み

日常管理の効率化に向けた取り組みを実施していきます。

道路利用者のニーズや観光振興を踏まえた維持管理

日常管理コストの削減

住民参加型の道路管理の推進

●路上工事の効率化に向けた取組

渋滞に次いで低い「路上工事に対する満足度」向上に向けた取り組みを実施していきます。

工事に関する情報発信

路上工事削減に向けた関係機関との調整

隣接工事の集約化など、路上工事の際の工夫

平成17年度に実施する主な施策

県内の国道で最も渋滞が著しい区間への渋滞緩和策

ー現状ー

国道58号那覇市泊～旭間は、県内の国道の中で最も渋滞が著しい区間です。



写真：渋滞状況（那覇市泊）

ー取組ー

当該区間の渋滞を解消、円滑な交通環境の実現に向けて沖縄西海岸道路「那覇西道路」の整備を推進していきます。

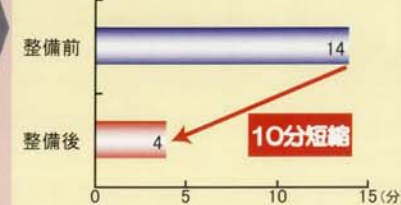


那覇西道路イメージ図

ー取組による効果ー

那覇空港～若狭間が約10分短縮

那覇西道路の供用により、那覇空港～若狭間の所要時間が、14分から4分へ約10分の短縮効果が見込まれます。



グラフ：整備前後の那覇空港～若狭間所要時間

渋滞緩和や観光支援、南部地域の連携向上に向けた取組

ー現状ー

国道331号の豊見城市名嘉地～糸満市糸満区間における渋滞は、那覇市周辺ほど大きくありません。しかしながら

- 那覇以南で最も渋滞が著しい区間
- レンタカー利用の観光客が多く利用する区間
- 沿線に大型プロジェクトが実施中
- 南部地域と那覇市を結ぶ唯一の国道

ー取組ー

当該区間の円滑な交通環境や観光支援、南部地域と那覇都市圏間の連結向上の実現に向けて沖縄西海岸道路「豊見城道路」の早期供用に向け整備を推進していきます。



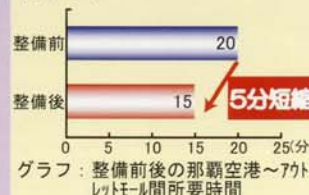
豊見城道路イメージ図

今年度中の「豊見城道路」暫定供用に向け取り組んでいます。

ー取組による効果ー

那覇空港～アウトレットモール間が5分短縮

豊見城道路の供用により那覇空港～アウトレットモール（豊崎地区）間の所要時間が、20分から15分へ5分の短縮効果が見込まれます。



グラフ：整備前後の那覇空港～アウトレットモール間所要時間

路上工事への不満緩和に向けた取組

ー現状ー

アンケート結果によると、路上工事に対する満足度は2.20と、渋滞に次いで低い状況です。路上工事に対する不満軽減が必要です。

ー取組ー

不満の要因として「路上工事による混雑・渋滞が発生している」や、「路上工事に関する情報提供不足」が挙げられます。そこで、以下の取り組みを試行的に実施します。

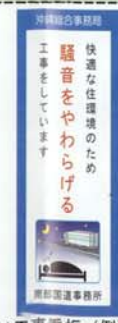
～交通量の少ない曜日へ、路上工事のシフト～

交通量の多い金曜日の夜間工事や、交通量の比較的少ない日曜日の夜間工事へ振替えを行い、交通規制に伴う道路利用者の不満を緩和します。

～路上工事に関する情報提供～

工事の目的や内容をわかりやすくお知らせするため、工事現場において『わかりやすい工事看板』の設置を行います。

図 わかりやすい工事看板（例）



那覇市中心部における安全対策

ー現状ー

国道58号の那覇市中心部に位置する「泊交差点」、「泊ふ頭入口交差点」、「松山交差点」は死傷事故が多発、管内交差点のワースト上位を占める交差点です。

ー取組ー

「泊交差点」、「泊ふ頭入口交差点」、「松山交差点」において、それぞれの事故原因の傾向を踏まえ、安全性向上に向けた対策（右折帯の延長、区画線誘導の改善、照明の適正配置など）を実施します。



維持管理の効率化に向けた取り組み

～中央分離帯や路肩の除草効率化～

中央分離帯や路肩の除草面積を削減することにより効率化を図ります。



写真：中央分離帯の防草対策

図 路肩部の防草対策（イメージ図）

～住民参加型の維持管理の実施～

地域とのコミュニケーションを図りつつ、協同で道路美化や管理を行う“ボランティア・サポート・プログラム”を推進していきます。

写真：ボランティア・サポート・プログラム実施風景



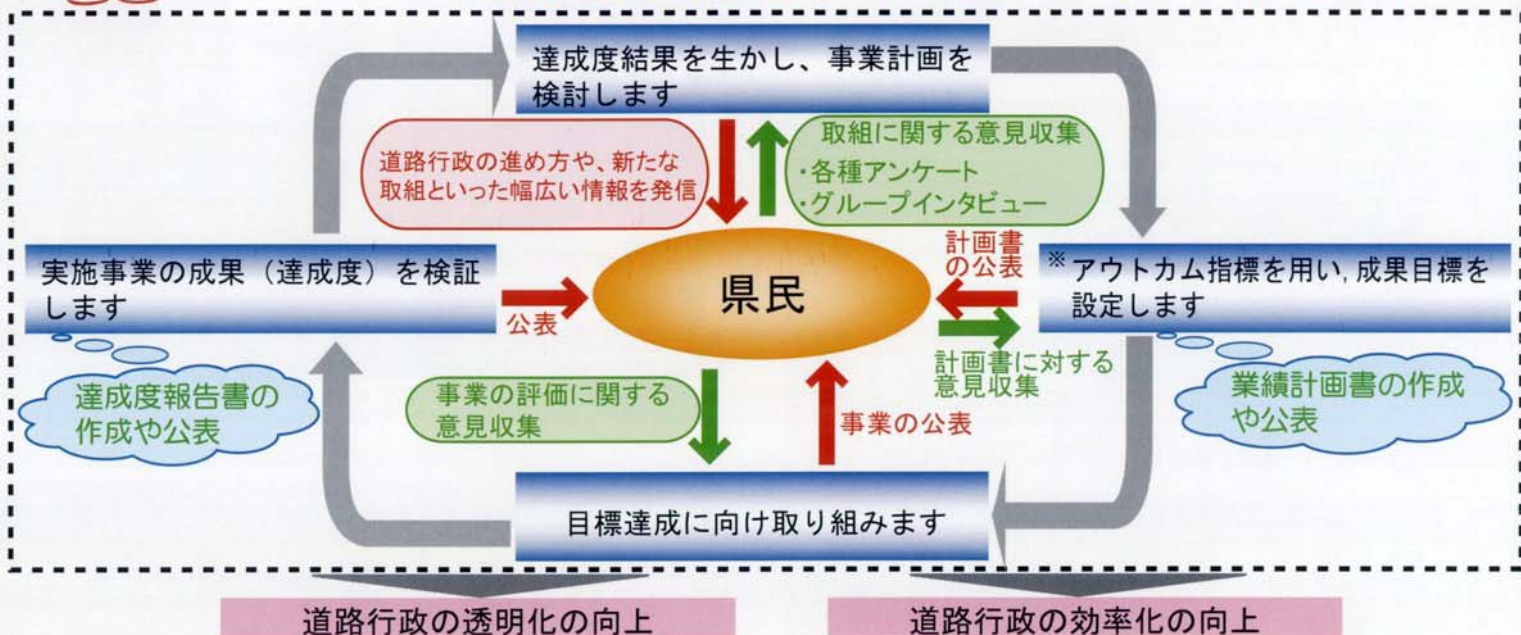
5. 事務所の道路行政の進め方



南部国道事務所では、「成果主義」と「県民とのコミュニケーション」に基づいた「マネジメントサイクル」による行政運営を進めていきます。

基本方針の実現に向けた取り組み

～成果主義を念頭にした『マネジメントサイクル』の流れ～



※アウトカム指標とは？

これまでの道路整備の目標として「道路を〇〇Km整備」といった“整備量”を用いてきました。この考え方は、道路整備が進んでいない時代には有効的でしたが、一定水準の整備がされた現在では、整備量よりも“道路整備による生活の質の向上”が重要となってきました。そこで、今後は生活の質の向上に視点をおいた“アウトカム指標”を目標に据え、成果重視の道路整備を進めていきます。

表 南部国道事務所にて設定している主なアウトカム指標

道路整備の基本方針	アウトカム指標	単位	指標の内容
交通渋滞の緩和に向けた道づくり	渋滞損失時間	万人時間/年	渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差の年間合計を表します
	規格の高い道路を使う割合	%	全交通に対する高速道路(沖縄自動車道、那覇空港自動車道)を利用する交通の割合を表します
全ての人に安全で安心な道づくり	道路交通における死傷事故率	件/億台km	自動車の道路交通量(交通量と道路延長を掛け合わせた値)あたりの死傷事故件数を表します
環境に配慮した道づくり	夜間騒音環境基準達成率	%	居住地を通過する幹線道路の延長に対し、騒音環境基準(生活環境の保全上望ましい基準)を達成している道路延長の割合を表します
開かれた道路行政の運営に基づいた道づくり	ホームページアクセス数	万件/年	南部国道事務所のホームページ(PC及び携帯電話サイト)への年間の合計アクセス数を表します
	道路利用者満足度	—	道路ユーザーが評価する満足度(5段階評価)結果を表します

南部国道事務所ホームページでは、渋滞情報や緊急時規制情報といった道路関連情報を掲載しています。どうぞお役立て下さい。

現在、ホームページ上にて『沖縄県の渋滞』、『南部国道ホームページ』に関するアンケートを実施しております。皆様の意見をお寄せ下さい。

<南部国道ホームページアドレス> <http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/>

内閣府 沖縄総合事務局
南部国道事務所

〒900-0001 沖縄県那覇市港町2丁目8番14号
TEL:098-861-2336 FAX:098-868-1429
<http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/>